

2019. 6. 1 No.169号

社会福祉法人下松市社会福祉協議会
〒744-0022 下松市大字末武下617番地2
下松福祉センター内
TEL 41-2242 FAX 41-2330
<http://www.kudamatu-syakyo.or.jp/>



その気持ち 誰かを笑顔に させる種

(2019年度児童福祉週間標語)

もくじ (主な内容)

平成31年度事業計画と予算	2, 3P
福祉活動支援事業・赤十字報告	4P
ボランティアコーナー	5P
善意の花束	6P
協議体について	7P
掲示板	8P

下松市児童センターでは子育て親子の交流の場として、子育て支援事業を実施しています。

毎日、手遊びやダンス、絵本の読み聞かせなど、みんなで楽しく過ごしています。

また、子育てに関する相談や地域の子育て情報のご案内も行っていますので、親子で遊びに来てください。



平成31年度下松市社会福祉協議会事業計画と予算

事業方針

少子高齢・人口減少社会の進行や働き方などの生活様式の変化に伴って、孤立死や自殺、ひきこもりなどの社会的孤立、虐待や悪質商法などの権利擁護等、地域における生活課題は深刻化し、広がっているところです。

こうした時を背景に、平成30年4月に地域共生社会の実現を目指す改正社会福祉法が施行され、住民に身近な圏域で、住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制づくりを支援することが明記されました。

地域共生社会を実現していくためには、社会的孤立や社会的排除といった現実を生じうる課題を認識した上で、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民と一人ひとりの暮らしと生きがい、そして地域を共に創っていくことが求められており、改めて地域の福祉力が問われています。

下松市社会福祉協議会は、「地域共生社会の実現」に向け、住民主体を旨とする地域福祉推進の中核的な組織として、幅広い関係機関・団体・施設等との連携による地域における見守りや支え合い体制を推進し、「住み慣れた地域で、だれもが、安心して、豊かに、暮らし続けることができるまちづくり」をめざして、地域福祉の積極的な推進に努めてまいります。

社協事業への積極的なご参加と温かいご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。



重点事業

- 地域・関係機関等との連携による地域見守り体制の促進
- 地域共生社会に向けた地域づくりのための活動基盤整備
- 総合相談支援事業を通じたあらゆる生活課題への対応
- 介護保険法及び障害者総合支援法関連サービス事業の推進
- 法人化60周年記念事業の実施
- 組織体制、財政基盤強化への取り組み

主な事業

一、社協経営の基盤強化

- ① 経営の透明性及び情報の公開
- ② 福祉関係機関・団体・施設等との連携強化
- ③ 地域における公益的活動の推進

二、地域福祉活動の推進

- ① 下松市地域福祉活動計画の推進
- ② 地区社協の育成・活動支援
- ③ 福祉員活動の推進
- ④ ふれあい・いきいきサロンの推進
- ⑤ ふれあい食事サービスの実施
- ⑥ 敬老行事の実施と援助
- ⑦ 地域見守り・支え合い事業の実施
- ⑧ 生活支援体制整備事業の実施
- ⑨ 施設等との協働事業の企画・検討

三、ボランティア活動・福祉教育の推進

- ① ボランティアの養成及び育成
- ② ジュニアボランティアの養成
- ③ 福祉体験学習の実施
- ④ 小・中学校等における福祉教育の支援協力

四、在宅福祉サービスの事業の促進

- ① 給食サービス事業の実施
- ② 寝具乾燥サービス事業の実施
- ③ 介護支援ボランティアポイント制度事業の推進
- ④ 助け合いサービス事業の実施
- ⑤ 知的障がい児(者)の余暇活動の促進

五、居宅介護事業の充実

- ① 居宅介護支援事業の実施

六、総合相談支援事業の実施

- ① 総合相談事業の実施
- ② 訪問介護事業の実施
- ③ 障害福祉サービス事業の実施

七、広報・啓発活動の充実

- ① 社協だよりの発行（年4回）
- ② 愛のバザーの開催（第42回）
- ③ 法人化60周年記念下松市社会福祉振興大会の開催

八、福祉資金等の貸付

- ① 各種福祉資金の貸付（窓口業務）
- ② 援護資金等の貸付・償還業務

九、援護活動の推進

- ① 福祉団体の育成・援助
- ② 障がい児者等への援護
- ③ 母子家庭児童・低所得世帯等への援助

十、共同募金等への協力

- ① 共同募金運動の展開

十一、子育て支援センター事業の実施

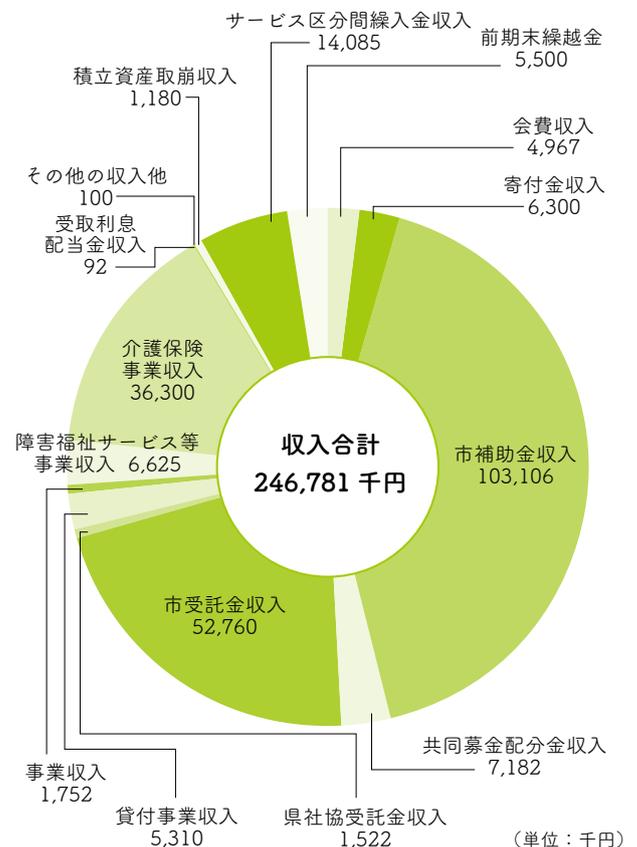
- ① 子育てに関する相談
- ② 未就園児及び保護者相互の交流
- ③ 赤十字事業の推進
- ④ 「小さな親切」運動の展開

十二、福祉施設の経営等

- ① 老人福祉会館「玉鶴」の運営
- ② 福祉センターの運営

拠点区分・サービス区分事業名	予算額(千円)
地域福祉推進事業拠点	202,127
法人運営事業	98,156
広報啓発事業	2,958
ボランティア等推進事業	1,084
福祉の輪づくり事業	984
地区社協育成事業	2,670
高齢者福祉支援事業	1,436
健康体力づくり事業	1,040
地域福祉権利擁護事業	4,016
成年後見支援事業	240
総合相談事業	512
地域見守りネットワーク整備強化事業他	324
生活困窮者自立支援事業	4,011
介護支援ボランティアポイント制度事業	443
生活支援体制整備事業	6,500
敬老事業	8,904
寝具乾燥サービス事業	295
給食サービス事業	11,637
高齢者訪問介護サービス事業	100
福祉号運行事業	1,463
助け合いサービス事業	922
活動助成・援護事業	2,462
共同募金配分金事業	7,182
子育て支援センター事業	9,212
老人福祉会館運営事業	13,367
福祉センター運営事業	4,518
資金貸付事業	10,144
善意銀行運営事業	6,300
事業資金積立金運営事業	1,200
基金運営事業	47
介護保険・障害福祉サービス事業拠点	44,654
居宅介護支援事業	18,654
訪問介護事業	18,543
居宅介護事業	5,032
地域生活支援事業	2,425
支出合計	246,781

予算総額 246,781千円



赤い羽根共同募金は住民福祉活動を支援します

福祉活動支援事業

助成団体

バリアフリー

映画上映会

下松市共同募金委員会では、市内の福祉活動団体への財政支援を行っており、2月26日、共同募金審査委員会を開催し、審査の結果、本年度、赤い羽根福祉活動助成団体として自閉症・発達障がい児を支援する「ほしの会」に助成することが決定しました。

ほしの会ではこの助成金を活用し、自閉症の特性、具体的な支援の方法、グッズの使い方、施設職員の支援の心構え等を学ぶセミナーを開催する予定です。



1月27日、スターピアくだまつ大ホールで、下松市共同募金委員会の助成を受け、バリアフリー映画をみんなで楽しむ会主催のバリアフリー映画上映会が行われました。障がいのあるなしに関わらず、みんなで一緒に映画を楽しもうと始められた上映会は、今回で7回目になります。

今回は、初めてとなる洋画「最強のふたり」(音声ガイド・字幕付)が上映され、700人の来場者が一体となって、上映会を楽しみました。



赤十字の活動資金にご協力をお願いします

日本赤十字社は、国内外で発生した災害などに、いち早く医療救護を行うための救護班の派遣や救援物資を被災地に届けています。

また、防災・減災につながる各種講習会の開催や次代を担う青少年の育成支援なども行っています。

赤十字の「人間のいのちと健康、尊厳を守る」活動は、皆様方一人ひとりからお寄せいただく善意の「活動資金」が支えです。ご理解とご協力をお願いいたします。

【2019年度活動資金目標額】 (単位：千円)

一般	法人	合計
8,140	781	8,921

【平成30年度活動資金実績額】

一般		法人		合計		達成率
目標額	実績額	目標額	実績額	目標額	実績額	
千円	円	千円	円	千円	円	%
8,160	6,792,350	788	747,392	8,948	7,539,742	84.3

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)



市民の皆様からお寄せいただきました活動資金は、日本赤十字社山口県支部へ全額送金いたしました。温かいご支援、ご協力ありがとうございました。

ボランティア探訪



「中村和らぎ会」は、ふれあい食事サービス事業の支援、児童や高齢者の見守り活動等さまざまな活動を行っているボランティアグループです。

ふれあい食事サービス事業では季節感を出すように工夫しており、今回は年末の餅つきにお邪魔しました。

この日は、早朝から地域の皆さんが集まり、石臼と餅つき機2台をフル稼働し、約80人分のお餅をついていました。

皆さん、役割ごとに手際よく作業しており、和やかな雰囲気の中、話し声が聞こえてくるのが印象的でした。



2月15日、各地区でひとり暮らしの高齢者にお弁当を作っているボランティアグループの合同研修会がありました。

今回は農産物の製造・加工及び販売等を行っている株式会社カンを訪問し、事業内容の説明や工場見学を行いました。

担当者から、衛生管理体制や具体的な取り組みなどについて説明があり、最新の製造工程を見学しながら、衛生面の重要性を再確認するきっかけになりました。



安全でおいしいお弁当作り



みんなで楽しくボランティア



3月12日、下松福祉センターで約70人の参加を得て、下松市介護支援ボランティアポイント制度事業交流会を開催しました。

今回はボランティアの方だけでなく施設職員にもご参加いただき、事業の一部見直しについての説明やグループごとの交流を行いました。

参加者からは、「他のボランティアや施設の職員の話が聞けて、今後の活動の参考になった。」という意見も聞かれ有意義な時間となりました。

この交流会を通して得たものをぜひボランティア活動等で活かして頂ければ幸いです。



読み聞かせ

ボランティア講座

「子供の読み聞かせに興味がある」、
「何か新しいことを始めてみたい」、
「仲間を作りたい」

という方、**大募集!**



- 日時 6月27日(木) 10:00~12:00
- 場所 下松福祉センター 3階会議室
- 内容 読み聞かせの基本や子供との関わり方について
- 定員 20名(先着順)
- 参加費 無料
- 締切日 6月20日(木)
- 申込方法 電話又はFAXでお申し込みください。
①氏名 ②住所 ③電話番号
- 申し込み・問い合わせ先 下松市社会福祉協議会
TEL 41-2242 FAX 41-2330

善意の花束

社会福祉事業のためにと、市民の皆様から、善意銀行に忌明けその他の厚志を含めてたくさん善意が寄せられました。ここに厚くお礼申し上げます。

なお、氏名・金額はご了解いただいた方のみ掲載しています。(順不同)
平成30年12月21日～平成31年4月15日 受付分

香典返し

- 南花岡 (有)ハラダモーターズ 一〇〇,〇〇〇円
- 原田房子様 (御主人) 祐様 一〇〇,〇〇〇円
- 生野屋 田村紀行様 (御尊父) 通様 一二〇,〇〇〇円
- 河内 藤井トシ子様 (御主人) 義馬様 一〇〇,〇〇〇円
- 城山町 山田千鶴子様 (御主人) 晴康様 一〇〇,〇〇〇円
- 末武下 松本八重子様 (御主人) 悦朗様 一〇〇,〇〇〇円
- 周南市 村谷和夫様 (御令姉) 橋本幸子様 一〇〇,〇〇〇円
- 末武上 匿名様 五〇,〇〇〇円
- 周南市 徳永邦行様 (御母堂) ナヲ様 三〇,〇〇〇円
- 南花岡 山本耕太郎様 (御母堂) 弓枝様 五〇,〇〇〇円
- 中央町 松本知行様 (御尊父) 達雄様 三〇,〇〇〇円

一般寄付

- たんぼの会様 五,〇〇〇円
- 累計 一七五,〇〇〇円
- 下松地区労働者福祉協議会様 三〇,〇〇〇円
- 累計 五九一,〇〇〇円
- 末武地区ふれあい新春のつどい様 七,三〇〇円
- 累計 一七一,二二二円
- みんなの末武まつり様 二六,四五六円
- 累計 四一〇,四五九円
- 周南市 木村茂様 一〇,〇〇〇円
- 累計 六〇,〇〇〇円
- 株式会社山口銀行下松支店様 三〇,〇〇〇円
- 累計 五九一,九〇〇円
- 山口県東部ヤクルト販売株式会社様 四八,〇〇〇円
- 累計 一,九四一,一八二円
- 瀬戸内ひらめ友の会様 一〇,四〇〇円
- 累計 二,七九六,一四四円
- 下松商工会議所女性会様 二〇,〇〇〇円
- 累計 六〇〇,〇〇〇円



周南市 すずらの会様 二六,八八六円



交通遺児基金

- 株式会社北斗工事様 一三,三三七円
- 累計 二三三,九三七円
- サイクルショップづくりやま様 三〇,〇〇〇円
- 累計 四二〇,〇〇〇円

指定寄付

- 日立製作所労働組合笠戸支部様 二二七,二六七円
- 累計 一七,一六九,七七四円
- 周南市 徳永邦行様 老人福祉施設に寄付 三〇,〇〇〇円

物品寄付

- マルハン下松店様 お菓子 一件
- 介護用品(紙おむつ) 一件
- 未使用切手 一件
- 未使用ハガキ 一件
- リングブル 二五件
- 使用済切手 一八件

「小さな親切」善行者を推薦しよう

推薦のお願い

善行者を見かけたときは、いつ・どこで・だれが(個人又は団体)・何をされたかを、推薦カード又はハガキに記入して、下松支部までお知らせください。実行章を伝達し、その善行を皆様とともに称えます。

推薦先

〒744-0022 下松市大字末武下 617 番地 2
下松福祉センター内
「小さな親切」運動下松支部



12月25日、株式会社日立製作所と関連会社の従業員で構成する奉仕団体、「親切会中国支部」から、「特定非営利活動法人キセキ みなくるはうす下松」に支援活動の一環として洗濯機と掃除機が贈られました。

助け合いの輪が地域に広がっています

団塊の世代が75歳以上となる2025年、下松市においても少子高齢化の進行や、20～64歳までの生産年齢人口の減少により人口構造が変化します。

これからは地域でつながり、支え合う体制が必要となります。

このため、地域で福祉活動に取り組んでいる皆さんが「定期的な情報共有や意見交換」を行いながら、「近所の助け合いの仕組みづくり」を進めていけるよう市内全域に話し合いの場「協議体」が9か所設置されました。

下松市では
**第1層協議体(市全域)と、
第2層協議体(概ね公民館区)が
あります。**



協議体とは、どんなことをするところ？

地域の皆さんが生活する上での困りごとや課題について、解決に向けて話し合いながら知恵を出し、地域にあった助け合いの仕組みを作ります。

一緒に安心して暮らせるまちづくりについて考えていきましょう！

例えば○○○



各地区の協議体委員を中心に参加された70人の皆さんからは「具体例をあげて話されて、よくわかった。」「相互に助け合うことが重要。」といった声が聞かれ、これからの協議体活動の活性化につながる研修会となりました。

3月14日、スターピアくだまつで「平成30年度協議体委員研修会」を開催しました。
講師にルーテル学院大学名誉教授の和田敏明先生をお招きし、生活支援体制整備事業の概要および各地の取り組み事例についてお話しいただきました。

3月14日、スターピアくだまつで「平成30年度協議体委員研修会」を開催しました。



掲示板

みんなで玉鶴に行こう!

玉鶴では、ちぎり絵、絵手紙、手芸など趣味の講座の講師、生徒を募集しています。

講師と生徒は原則 60 歳以上のシニアが対象ですが、会員の過半数の方がシニアであれば可能です。講座に興味・関心のある方は、ご相談ください。

現在開講中の教室へのご参加もお待ちしております。

編物	毎週木曜日	9:30 ~ 15:00
音楽	毎週火・土曜日	10:00 ~ 15:00
茶道	毎月第2水曜日	12:30 ~ 14:00
	毎月第4水曜日	10:00 ~ 11:30

下松老人福祉会館「玉鶴」TEL 43-8486



社協会費にご協力をお願いします

社会福祉協議会は、社会福祉法に「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」と位置づけられた、民間の社会福祉団体です。

市民の皆様が会員になり、自分たちの問題として地域の福祉課題への関心を高め、福祉活動へ参画し、地域福祉を進める主体となっていただくことで、地域の支え合いが実現できます。

会員の皆様からお寄せいただいた会費は、福祉教育への協力やふれあい食事サービス、地区社協や福祉員の活動支援等に活用されています。社会福祉協議会の活動にご理解いただき、会費にご協力くださいますようお願いいたします。



優しい声かけ

1月19日、末武地区で認知症見守り声掛け訓練を実施しました。

この訓練は、末武地区内で認知症への理解と関心を高めることを目的に、認知症高齢者が行方不明になったとの設定のもと、発見・保護した際の声掛けの体験や情報の連絡・報告体制の確認をしていくものです。

参加された 120 人の皆さんは、8 グループに分かれ一人ずつ体験しながら、配慮した声掛けや見守り方法を熱心に学んでいました。



サロン活動紹介コーナー

いきいきサロン清瀬

場所	中村児童の家
開催日	毎月第3木曜日 10時~11時30分
対象者	高齢者
参加人数	20人程度
内容	脳トレ、ゲーム等

メッセージ

5人の担い手さんが協力し、「参加者に楽しいひとときを過ごしてもらうこと」をモットーに開催しているサロンです。

地域の施設との交流も活発で、クリスマスコンサートやお花見など季節の行事をともし、ふれあいの輪が広がっています。

